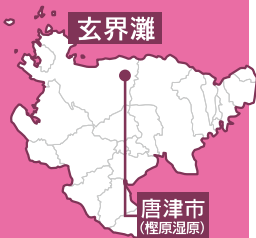


玄界灘と檜原湿原

数々の景勝に恵まれた海と多様な生き物が息づく湿原



佐賀県北西部の玄界灘沿岸は、国定公園として指定される美しい風景が広がります。この地域周辺には、多様な植物や動物が棲む湿原もあります。



虹の松原と唐津湾 「日本の白砂青松百選」「日本の渚百選」などにも選ばれている

三つの地域に分かれる玄界灘沿岸

九州北部沿岸部に面した海を**玄界灘**と呼び、様々な自然環境の中で、多くの動植物が生息しています。

玄界灘に面した地域は、唐津湾を中心とする東部地域、東松浦半島一帯の中部地域、伊万里湾を中心とする西部地域に分けることができます。ここに

調べてみよう

玄界灘沿岸には、どんな景勝地があるだろうか？



日本有数の景勝地です。

(吉田善美明氏提供)



アカウミガメの産卵

アカウミガメは満潮時でも海水に浸からない砂浜を探して産卵します。

(吉田善美明氏提供)

は、多くの景勝地があり、佐賀、福岡、長崎の玄界灘沿岸は「**玄海国定公園**」として指定されています。

東部地域の沿岸には、国の特別名勝に指定された、日本三大松原の一つ**虹の松原**があります。脊振山地の花崗岩が風化して、砂となり、河川の運搬・堆積作用によって多くの砂浜海岸が形成されます。そこは、絶滅危惧種に指定されているアカウミガメの産卵地になっています。

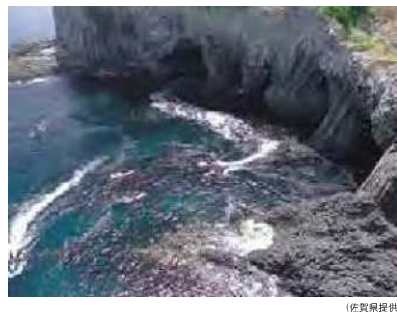
虹の松原は、17世紀初期に唐津藩主寺沢広高が防風・防砂林として幅約500m、長さ約4500mにわたり、クロマツを移植したのが始まりと言われています。クロマツの落葉は油分が多く、燃やすと火力が強いため、昔は炊飯などの火力として利用されていました。4月下旬から5月中旬ごろには、マツの梢で「ムーゼムーゼ」とハルゼミが合唱します。

東松浦半島は、今から約1600万年～1500万年前の火山活動で



噴出したマグマが地表で急激に冷え固まった玄武岩からできた半島です。溶岩の粘性が弱かったために、楯(台地)状の地形となつたと考えられています。この半島では河川が発達しなかつただけでなく、粘土性の赤土のために保水力も弱く、200か所以上の農業用溜池が作られ、農業が営まれてきました。

湊の海岸線では、小規模な**海岸段丘**が見られます。立神の東方には、ハイアロクラスタイトと呼ばれる玄武岩質のマグマなどが水中で噴出した際に急冷されてできる岩石が見られ、七ツ釜では、ほぼ六角柱の**柱状節理**や波の侵食で形成された海食洞※1・海食崖※2・海食台※3が見られます。海岸線には、タイトウゴメ、ハマゴウ、ハマユウなどの**海浜性植物**やマテバシイやヤブツバキなどの小規模な林が



七ツ釜 海食洞が複数並んでいる場所です。1925(大正14)年、国の天然記念物に指定されました。

形成されています。

- ※1 波の侵食作用によって海食崖にできた洞窟のこと。
- ※2 波の侵食作用でできた斜面の急な崖のこと。
- ※3 海食崖の下の方のできる緩やかな斜面のこと。

中部地域と西部地域の沿岸は典型的なリアス海岸で、小さな湾や入り江が多く、磯も発達しています。これは、玄界灘に浮かぶ高島、神集島、加部島、小川島、加唐島、松島、馬渡島、向島などの海岸線にも見られます。

暮らしの中から創り出された九州の尾瀬・檜原湿原

九千部山から脊振山、浮嶽と連なる山々や天山・作礼山などの一帯は、今から約6500万年～170万年前にかけて地下の深い所でマグマがゆっくり冷え固まってできた花崗岩が隆起してできたと考えられています。山頂付近には**アカガシ二次萌芽林**が発達し、約3億年前の地層から発見されたトンボの化石とほぼ同じ形態をもつ**ムカシトンボ**や緑色の金属光沢に輝く**キリシマミドリシジミ**というチョウなどが生息し



七ツ釜の柱状節理

「節理」とは、マグマが冷えて固まる過程で、縦んで体積が減るためにできる割れ目のことです。割れ目が規則正しく並んだものが柱状節理です。



ムカシトンボ 「生きている化石」と呼ばれています。



キリシマミドリシジミ(オス)

緑色の金属光沢に輝く翅を持つのはオスのみです。

ています。山間部は、ところどころが盆地状になっていて、粘土層が堆積しています。そこが不透水層となり、多くの湿地が形成されました。その一つに**檜原湿原**があります。

檜原湿原は、脊振山地の西部の標高591mに位置します。氷河期の遺存種であるミツガシワをはじめ、サギソウやトキソウを含む335種類以上の植物や、日本で最も小さなハッチョウトンボなど317種類以上の昆虫、県内では絶滅状況にあるイシガメなどが生息しています。まさに生き物の宝庫で、「**九州の尾瀬**」とも呼ばれています。

檜原湿原は、檜原地域の「**里山**」として、農林業を中心とした人々の暮らしの中から創り出されたものです。多くの湿地は、放置しておくとう陸地化が進み、ススキ原からアカマツなどの林を経てカシ類が茂る**極相林**へと自然が移り変わっていきます。一方、檜原湿原の場合、薪炭用に樹木を伐採したり、園芸用としてミズゴケを採取したりするなど、人が管理・利用してきたことにより**湿生草原**が成立したのです。



檜原湿原

「日本の重要湿地500」にも選ばれています。

(佐賀県観光連盟提供)

檜原湿原は、1976(昭和51)年に**佐賀県自然環境保全地域特別地域**に指定されました。しかし、近年はオオミズゴケ、ヨシ、マコモ、カササゲ、ミツガシワなどが優勢状態になったため、他の

湿性植物の生育が阻害され、湿性植物群落の劣化が進行しています。佐賀県では環境教室を開いて人々に環境問題を学習してもらうなど、地元の人々の協力を得ながら、いつもの環境保全に努めています。

学校の取組

【地域のためのスポーツ貢献】

■ 佐賀県立唐津西高等学校ヨット部

競技力の向上はもちろん、競技の普及・発展のためにヨット教室にも積極的に参加しています。



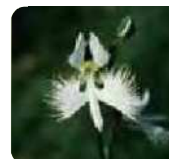
※1 太古の時代に栄えていたがその後衰退し、現在わずかな地域で生き残っている生物のこと。「生きた化石」と言われることもある。

調べて書いてみよう!

檜原湿原に、他にどんな植物や昆虫が生息しているのか調べて書いてみましょう。



出かけてみよう!

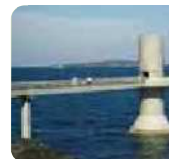


檜原湿原 (唐津市七山池原)

春はミツガシワ、夏はトキソウやサギソウの花が咲き、珍しい食虫植物を見ることもできます。湿原内での立木の伐採・採取は禁止されているので注意しましょう。見学自由。

TEL 0955-53-7175 (唐津市七山市民センター)

(高田壽美明氏提供)



玄海海中展望塔 (唐津市鎮西町波戸)

海上テッキからは玄海灘の島々を見渡すことができ、水深7mの海中展望塔からは海中を自然のままに泳ぐ魚を観察することができます。

TEL 0955-82-5907 / 休館日 年中無休※但し荒天等により閉館する場合があります。/ 営業時間 4月~9月9:00~18:00 10月~3月9:00~17:00

(佐賀県観光連盟提供)



検索してみよう!

環境副読本わたしたちの環境

日本三大松原

玄海国立公園

7つの島

